



2019年9月21日～2019年9月27日

2019年9月30日

先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円では上昇、対米ドルでは下落しましたが、いずれも小幅な値動きでした。また、2年国債金利は小幅に低下しました。

年金改革に関して、上院議会が先週予定されていた第一回票決を延期しました。票決が延期されたことで、一部では法案が骨抜きにされる可能性についての懸念が広がり、ブラジル・レアル、ブラジル国債の売り要因となりました。

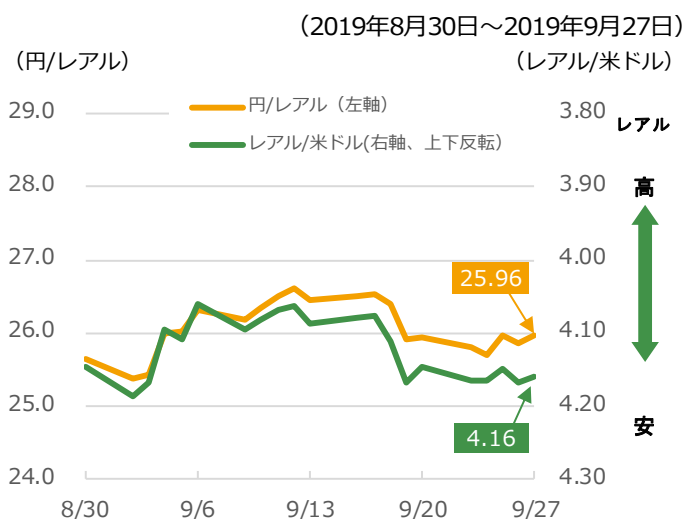
経済指標に関しては、ブラジル中央銀行から四半期インフレ報告書が発表されました。発表された報告書ではインフレ率が今後3年間は4%を超えることがないとの予測が示されました。インフレ率が低位で安定するとの見方が示されたことで利下げ期待が高まり、ブラジル金利は低下しました。

今週の見通し

今週は鉱工業生産や各種PMI（購買担当者指数）などの経済指標の発表が予定されています。

延期された年金改革法案の票決は10月前半までに行われる予定となっており、市場は延期を冷静に受け止めています。しかし、票決が大幅に遅れる場合や、法案変更による歳出削減規模の縮小があった場合にはブラジル・レアルが売られると考えられるため、年金改革法案票決の行方には注意が必要です。

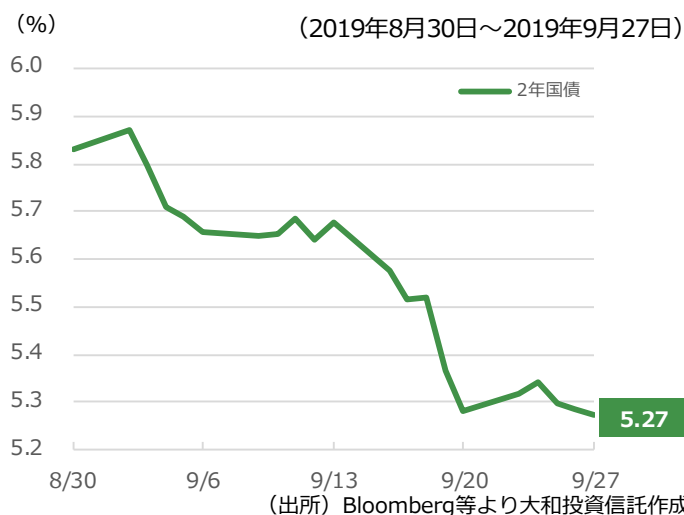
ブラジル・レアル 為替推移



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

ブラジル 金利推移



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。

大和投資信託

Daiwa Asset Management